

履 歴 書

(1) 氏 名	フリガナ	ハンダイ		ハナコ		性 別		
		阪 大		花 子		女		
生 年 月 日	昭和	55	年	4	月	15	日	改 姓
	フリガナ	旧 氏 名		ス イ タ		ハ ナ コ		旧 姓 使 用 希 望 の 有 無
	吹田	花子						有
住 所	昭和	35	年	6	月	20	日	履 歴 書 作 成 日 (現 在 満 年 齢)
		(53 歳)		(2)	国 籍	日本国		
電 話 番 号	〒	5	6	5	ー	0	8	7
	吹田市	山田丘1-1						
メー ル ア ド レ ス	(自 宅)	06	ー	6877	ー	5111	(携 帯)	090
		tarouh@handai.co.jp						1234
								5678

写真貼付
作成日前6月以内に撮影した鮮明な写真(白黒・カラー又は画像ファイル貼り付けのいずれも可、上半身、正面向、脱帽)
タテ 3.5 ~ 4.0
×
ヨコ 3.0 ~ 3.5

(3) 高 等 学 校 学 大 短 大 高 等 専 門 学 校 専 門 学 校 等	年 月		年 月		学校等名称(学校、学部、学科、コース)	修 学 年 数	修 了 区 分	夜 間 ・ 通 信		
	昭和	51	4	~					昭和	53
	昭和	53	4	~	昭和	54	3	大阪府立山田丘高等学校普通科	転学	
	昭和	54	4	~	昭和	56	3	大阪府立待兼山高等学校普通科(3年次転入)	卒業	
	昭和	56	4	~	昭和	57	3	山田丘大学工学部電子工学科(2年次退学)	退学	
	昭和	57	4	~	昭和	62	3	待兼山大学経営情報学部経営マネジメント学科(1年次退学)	退学	
	昭和	57	4	~	昭和	62	3	山田丘大学理学部化学学科(休学昭和58年4月1日~昭和59年3月31日)	卒業	

(4) 大 学 院	年 月		年 月		学校等名称(学校、研究科、専攻、課程)	修 学 年 数	修 了 区 分		
	昭和	62	4	~				昭和	63
	平成	元	4	~	平成	4	3	山田丘大学大学院情報学研究所情報システム学専攻博士前期課程(1年次退学)	退学
	平成	4	4	~	平成	7	3	待兼山大学大学院工学研究科電気工学専攻博士前期課程(休学平成2年4月1日~平成3年3月31日)	修了
	平成	4	4	~	平成	7	3	待兼山大学大学院工学研究科電気工学専攻博士後期課程(3年次退学)	単位修得退学
	平成	8	3	~	平成	8	3	待兼山大学大学院工学研究科電気工学専攻博士後期課程	修了

(5) 学 位	年 月 日		学位区分	専攻分野	取得学校名	年 月 日		学位区分	専攻分野	取得学校名				
	平成	4				3	25				平成	10	12	19
	平成	4	3	25	修士	工学	待兼山大学	平成	10	12	19	Ph. D	情報工学	カリフォルニア大学
	平成	8	3	25	博士	工学	待兼山大学							

(6) 免 試 資 格 許 験 等	年 月 日		名 称	年 月 日		名 称				
	平成	7		5	10		平成	10	5	30
	平成	7	5	10	TOEIC 900	平成	10	5	30	上級バイオ技術認定試験
	平成	8	4	14	秘書技能試験一級	平成	11	5	10	医師免許
	平成	9	4	20	危険物取扱者甲種	平成	12	4	14	看護師免許

(7) その他の期間(職歴等)						所 属 組 織 (部・課・研究室名)	職 名	職 務 ・ 研 究 従 事 内 容	雇 用 形 態	
年	月	~	年	月	(退職見込を含む)					
昭和	57	4	~	昭和	58	3	吹田大学文学部〇〇教授研究室		中国古典文学の研究に従事	
昭和	58	4	~	昭和	59	3	吹田大学大学院文学研究科	研究生	中国古典文学の研究に従事	
昭和	59	4	~	昭和	60	3	日本学術新興会(美穂ヶ丘大学大学院文学研究科)	特別研究員(DC)	電子化言語資料分析法に関する研究に従事	
昭和	60	4	~	昭和	61	3	日本学術新興会(美穂ヶ丘大学大学院文学研究科)	特別研究員(PD)	ドイツ啓蒙主義に関する研究に従事	
昭和	61	4	~	昭和	61	6	山田丘大学医学部附属病院		臨床補助の研修に従事	
昭和	61	7	~	昭和	62	6	山田丘大学医学部附属病院	医員(研修医)	研究・診療業務	日々雇用職員※
昭和	62	7	~	昭和	63	6	山田丘大学医学部附属病院	医員	研究・診療業務	日々雇用職員※

※法人化後の国立大学法人において医員等の職歴がある場合には「非常勤職員」と記入する
国立大学法人大阪大学様式

その他の期間(職歴等)						所 属 組 織(部・課・研究室名)	職 名	職務・研究従事内容	雇用形態	
年	月	～	年	月	(退職見込を含む)					
平成	5	4	～	平成	6	3	待兼山大学大学院工学研究科	ティーチング・アシスタント	教育活動支援業務に従事	
平成	5	4	～	平成	6	3	待兼山大学大学院工学研究科	リサーチ・アシスタント	研究活動支援業務に従事	
昭和	63	7	～	平成	2	3	(株)ビジネスサービス 人材派遣部(〇〇病院へ派遣)	I 種コーディネーター	〇〇病院において臨床開発支援業務に従事	派遣社員
平成	2	4	～	平成	3	3	株式会社〇〇財務部管財課	事務職員	財務に係る調査・報告等及び物品及び役務の契約事務に従事	正規社員
平成	3	4	～	平成	5	3	株式会社〇〇財務部管財課	主任	財務に係る調査・報告等総括及び物品及び役務の契約事務総括に従事	正規社員
平成	5	4	～	平成	6	3	△△株式会社××支店	〇〇部グループリーダー	店舗での販売、品出し、発注、清算事務に従事	嘱託
平成	6	4	～	平成	7	3	(財)バイオメディカル振興財団(国立〇〇病センターへ派遣)	流動研究員	創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業に係る研究に従事	パート職員
平成	7	4	～	平成	8	3	科学技術振興事業団戦略的基礎研究推進事業「〇〇研究推進プロジェクト」(吹田大学大学院〇〇学研究科へ派遣)	研究員	脳のシナプス形成と可逆性分子機構に関する研究に従事	正規職員
平成	8	4	～	平成	9	3	米国〇〇州立大学〇〇研究所〇〇部門	リサーチ・アソシエイト	運動神経細胞のサブタイプ特異的な軸索ガイダンス分子の探索に関する研究に従事	契約職員
平成	9	4	～	平成	10	3	(株)〇〇総合研究所安全保障政策研究センター第一研究室	主任研究員	各国知的所有権保護制度の比較研究に従事	正規社員
平成	10	4	～	平成	11	3	(株)〇〇総合研究所国際競争力研究部	〇〇プロジェクトチーフ	所有権保護制度の歴史的変遷に関しての欧米諸国とアジア諸国の比較・調査研究に従事	正規社員
平成	11	4	～	平成	12	3	(株)〇〇総合研究所国際競争力研究部	部長	1970年代以降の各国の国際競争力維持に関する制度・政策の比較調査・研究・総括に従事	正規社員
平成	12	4	～	平成	13	3	〇〇県立〇〇病院	技術士員医師 産婦人科医長	診療業務に従事	正規社員
平成	13	4	～	平成	14	3	国立〇〇病院	厚生技官医師 産婦人科部長	診療業務に従事	正規職員
平成	14	4	～	平成	15	3	〇〇県立大学〇〇学部	〇〇県立公立学校教員 講師	教育・研究に従事	正規職員
平成	15	4	～	平成	16	3	米国〇〇研究所〇〇研究部門	ビジッティング・レクチャー	脂肪酸β酸化酵素複合体の生化学的解析に関する研究に従事	正規職員
平成	16	10	～	平成	17	9	〇〇大学〇〇学部	文部教官助手	〇〇学に関する教育・研究に従事	契約職員
平成	17	10	～	平成	18	3	〇〇大学大学院〇〇学研究科	文部教官助教授	〇〇学に関する教育・研究に従事	正規職員
平成	18	4	～	平成	18	9	〇〇大学大学院〇〇学研究科	文部科学教官助教授	〇〇学に関する教育・研究に従事	正規職員
平成	18	10	～	平成	22	5	国立大学法人〇〇大学大学院〇〇学研究科	教授	〇〇学に関する教育・研究に従事	正規職員
平成	19	4	～	平成	20	3	国立大学法人大阪大学大学院〇〇学研究科	招へい教授	〇〇学に関する教育・研究に従事	
平成	22	6	～	平成	25	12	学校法人〇〇学園〇〇大学大学院〇〇研究科(平成25年12月31日退職見込)	教授	〇〇学に関する教育・研究に従事	正規職員

罰事項(必ず自筆で記入し、罰がないときは「無」と記入のこと)

無 (自筆)

本履歴書は証書等又は関係機関等に直接確認のうえ相違脱漏なく記入したものであり記載内容に相違ありません。なお、万一、経歴詐称があった場合は懲戒解雇となることがある他、採用後記載内容に誤りがあることが判明した場合は採用日に遡及して給与を返納することがあることについては異存ありません。

履歴書作成年月日 平成 25 年 12 月 1 日

本人自筆署名・捺印

阪 大 花 子 印

(朱肉を用いる印を使用のこと)

(注)訂正箇所は二重線で抹消のうえ捺印すること。

国立大学法人大阪大学様式